

一般団体の部(ビデオ予選通過団体)

	団体名	所在地	演奏曲名	曲紹介文
1	土佐和太鼓文化研究所 「一響館」侍	高知県	直参 (ジキサン)	序盤は締太鼓で戦いを表現しながらも、ポリリズムで一つの音を作り、中盤で次の戦いまでの静けさ、追ってくる緊迫感を櫓太鼓と締太鼓の掛け合いで表現。中盤以降は左右のパートに分かれて真剣勝負で打ち合い、クライマックスは全身全霊の力で打ち上げていく曲になっています。 曲名である「直参」は、侍の中でも直接主君に使える侍のみが呼ばれる呼び名で、直参のイメージを持ちながら、しっかり打ち込むことに加え、スピード感やテンポの変化を大切に打っています。
2	和太鼓 鼓一	東京都	覆動 (フクドウ)	人間の業が創り出してきた世界、その喧騒を鋭さと、細かい音の粒で表現し、大太鼓を中心とした核を取り巻く、長胴太鼓の音で胎動を描いてみました。地表で瞬間に変化する乾いた世界と、その奥深く核から伝わり湧き上がる力強さが、全体にうねりながら溢れ出る様の対比を一曲の中に凝縮しました。
3	田島太鼓龍巳会「白鼓」	福島県	ざんざ	「ざんざ」は、地元・南会津田島の創建話を元に創作した、神々の物語。日ノ町を「田島」と名付けた龍神が、日の神を怒らせ、訪れた日も出ず月の光もない世界。厳しい寒さに凍える中、田島を守る愛宕の山神が救いの手を伸ばします。「与えられた恵みを不足と思わずに、今あるものを幸せと思って暮しなさい」。凍てつく雪と氷の世界があるからこそ、春が美しい、花が芽吹き舞う田島の四季を太鼓で表現します。物語を語るように太鼓を打つ、白鼓の世界をお楽しみください。
4	創作和太鼓集団 打鼓音	神奈川県	祭典 (サイテン)	「夢は見るものではなく掴むもの」という言葉を信じ、太鼓もない所から努力を重ね、渾身の力で和太鼓に向き合ってきた。今回演奏する創作演目「祭典」は昨年作曲したものをさらなる進化させアレンジしてきました。「祭典」は夏のまつりの夜空に彩る花火を表現した演目であり、エネルギーとスピード、一瞬にして表現される躍動を太鼓の音色で表現し、太鼓の音色を観る人の心に伝えます。
5	華音	神奈川県	破天荒 (ハテンコウ)	華音は太鼓が大好きな人が集まってできたチームです。職業も年齢もいろいろ。2006年に結成されコンテストにも挑戦してきました。「夢は見るものではなく掴むもの」今回も華音メンバー心ひとつにこのコンテストに挑戦します。「破天荒」とは、今まで人がなし得なかったことを行うこと。前人未到の境地を切り開く事。締太鼓の繊細なリズムで他の太鼓を引き立て、大太鼓は生命的なエネルギーを表現する。桶胴太鼓は風、空気、気圧を表現し他を引き立てる役割を持つ。それらが天を突き破る勢いで演奏され、突き破った瞬間からの力強く拓かれた様子を表現した曲構成となっている。

※当日の出場順ではありません

※敬称略

※曲名、曲紹介文は変更となる場合があります。